

# 第3編 基本計画

令和8(2026)年度▶▶令和12(2030)年度



## ～基本計画の見方～

基本計画では、基本構想で掲げた政策方針ごとに、具体的に取り組む政策及び施策等を示します。

**政策**

政策方針を実現するために取り組む分野別の目標を記載しています。

**取組の方向性**

政策を推進していく上での方向性を記載しています。

**現状と課題**

政策に対する本市の現状や課題について記載しています。

**SDGs**

政策を推進することにより達成されるSDGsの目標を記載しています。

政策 1

子育て支援の充実

SDGs



**取組の方向性**

子育て世代が安心して暮らせる環境を整え、子どもたちが地域の中で健やかに育つための支援と居場所づくりを進めます。

**現状と課題**

本市では、妊娠期から子育て期まで、子どもと保護者を切れ目なく支援する体制づくりを進めています。

こども家庭センターを中心とした相談体制の充実を図り、保育所、幼稚園、認定こども園、関係機関などと連携することで支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努めていますが、近年は核家族化の進行やコミュニティ意識の希薄化などに伴い、子育ての不安や悩み、孤立感を持つ親が増加傾向にあります。アンケートやワークショップでも「気軽に相談できる場所」「親同士の交流機会」を要望する声が多く寄せられており、子育てについて共感し合える場の充実が求められています。

また、不妊・不育に悩む夫婦やひとり親家庭、ヤングケアラーの増加など家庭における課題は多様化しているため、子どもの居場所づくりも含め、実情に応じた支援体制の充実が必要です。

さらに、子どもたちが生活時間の多くを過ごす保育所・幼稚園・認定こども園、小規模保育事業所等は、健全な成長を育む場として大きな役割を担っており、柔軟な預かり体制の充実強化も必要です。

特に乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要な時期であり、一人ひとりの発達の特성에応じた適切な関わりや質の高い就学前保育・教育の充実が求められます。

まちづくり目標値

「子育て支援の充実」に満足している市民の割合

40.4%

令和6年度 現状値

▶

65.0%

令和12年度 目標値

### まちづくり目標値

令和6(2024)年度に実施した「まちづくり市民アンケート調査」において、行政施策に対する市民の満足している(「満足」+「ある程度満足」)割合を現状値としています。目標値は、「どちらともいえない」と回答した割合の半数が「満足」又は「ある程度満足」に移行することを目指して設定しています。

施策

政策を具体的に推進していくための取組内容について記載しています。

目標値

施策の進捗状況を測るための指標を設定しています。

政策方針

政策方針の番号をページ右端に表示しています。

用語

青字で示した用語は、巻末の資料編「用語集」で説明しています。

施策 1

妊娠・出産期の支援

- 子どもを望み、不妊治療を行う方に対して、経済的負担の軽減を図ります。
- 将来の妊娠に向けた健康管理について、性別を問わず、幅広い世代への普及啓発に努めます。
- 妊婦やその家族等と面談の機会を設け、状況に応じて必要な情報提供、支援を行います。
- 産後の体調回復や育児不安の軽減を目的に、安心して子育てができるよう、産後ケアの充実を図ります。
- 出産・子育てに係る給付金等を支給し、経済的な支援を図ります。

目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
こんにちは赤ちゃん事業訪問率(%)	100.0 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

基本計画

1

施策 2

子育て環境の充実

- 保護者が安心して子育てができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を整えます。
- こども家庭センターを中心に保育所、幼稚園、認定こども園、学校、関係機関などと連携し、子育て世代の親へ必要な情報提供を行うとともに、相談しやすい環境の整備に努めます。
- 子どもやその保護者、若者などに対して、アンケートなどにより定期的の実態調査を実施するとともに、ひとり親家庭、**ヤングケアラー**など多様な家庭の状況把握に努め、実情に応じた支援を行います。
- 放課後の子どもの安全な居場所づくりとして、放課後児童クラブや放課後子ども教室を実施するとともに、地域に根差した児童館の運営を行い、子どもの健全な育成に努めます。
- 親子で参加できる遊びの広場などを開催し、未就園児の交流・遊び・保護者同士のつながりの機会の充実に努めます。
- 子どもの健康診査等を通じて成長発達を確認し、生活習慣の見直し等に関する相談を行います。

目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
児童館利用者数(人)	61,582 (令和6年度)	70,000 (令和12年度)
3歳児健康診査受診率(%)	96.7 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)



## 政策方針1

# 育ちと学びを支えるまちづくり



▲小学校での授業風景

政策1 子育て支援の充実

政策2 学校教育の充実

政策3 青少年の健全育成

政策4 生涯学習社会の推進

政策5 文化財の保護と文化芸術の振興

政策6 スポーツ活動の推進

## 取組の方向性

子育て世代が安心して暮らせる環境を整え、子どもたちが地域の中で健やかに育つための支援と居場所づくりを進めます。

## 現状と課題

本市では、妊娠期から子育て期まで、子どもと保護者を切れ目なく支援する体制づくりを進めています。

こども家庭センターを中心とした相談体制の充実を図り、保育所、幼稚園、認定こども園、関係機関などと連携することで支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努めていますが、近年は核家族化の進行やコミュニティ意識の希薄化などに伴い、子育ての不安や悩み、孤立感を持つ親が増加傾向にあります。アンケートやワークショップでも「気軽に相談できる場所」「親同士の交流機会」を要望する声が多く寄せられており、子育てについて共感し合える場の充実が求められています。

また、不妊・不育に悩む夫婦やひとり親家庭、ヤングケアラーの増加など家庭における課題は多様化しているため、子どもの居場所づくりも含め、実情に応じた支援体制の充実が必要です。

さらに、子どもたちが生活時間の多くを過ごす保育所・幼稚園・認定こども園、小規模保育事業所等は、健全な成長を育む場として大きな役割を担っており、柔軟な預かり体制の充実強化も必要です。

特に乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要な時期であり、一人ひとりの発達の特性に応じた適切な関わりや質の高い就学前保育・教育の充実が求められます。

### まちづくり目標値

「子育て支援の充実」に満足している市民の割合

40.4%

65.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値



## 施策1

## 妊娠・出産期の支援

- 子どもを望み、不妊治療を行う方に対して、経済的負担の軽減を図ります。
- 将来の妊娠に向けた健康管理について、性別を問わず、幅広い世代への普及啓発に努めます。
- 妊婦やその家族等と面談の機会を設け、状況に応じて必要な情報提供、支援を行います。
- 産後の体調回復や育児不安の軽減を目的に、安心して子育てができるよう、産後ケアの充実を図ります。
- 出産・子育てに係る給付金等を支給し、経済的な支援を図ります。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
こんにちは赤ちゃん事業訪問率(%)	100.0 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

## 施策2

## 子育て環境の充実

- 保護者が安心して子育てできるように、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を整えます。
- こども家庭センターを中心に保育所、幼稚園、認定こども園、学校、関係機関などと連携し、子育て世代の親へ必要な情報提供を行うとともに、相談しやすい環境の整備に努めます。
- 子どもやその保護者、若者などに対して、アンケートなどにより定期的に実態調査を実施するとともに、ひとり親家庭、**ヤングケアラー**など多様な家庭の状況把握に努め、実情に応じた支援を行います。
- 放課後の子どもの安全な居場所づくりとして、放課後児童クラブや放課後子ども教室を実施するとともに、地域に根差した児童館の運営を行い、子どもの健全な育成に努めます。
- 親子で参加できる遊びの広場などを開催し、未就園児の交流・遊び・保護者同士のつながりの機会の充実に努めます。
- 子どもの健康診査等を通じて成長発達を確認し、生活習慣の見直し等に関する相談を行います。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
児童館利用者数(人)	61,582 (令和6年度)	70,000 (令和12年度)
3歳児健康診査受診率(%)	96.7 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

## 就学前教育・保育の充実

- 公立保育所、幼稚園の施設運営に関して、保育ニーズの状況に応じて、民営化や認定こども園化を検討するとともに、適切な人員配置、研修の充実、ICTシステムの導入、配慮の必要な子どもや医療的ケア児の受け入れなど、質の高い幼児教育・保育の提供に継続的に取り組みます。
- 保育ニーズの状況に応じて、小規模保育事業所等の参入を促進するなど、受け入れ体制の充実に努めます。
- 多子世帯への保育料の減免など、経済的な支援を図ります。
- 共働き世帯や多様な働き方に対応した預かり体制の充実に努めます。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
保育所等利用待機児童数(人)	0 (令和6年度)	0 (令和12年度)

関連計画 東温市こども計画／東温市健康増進計画



▲保育所での遊び



▲児童館での遊び



▲3歳児健診



▲パパママ教室



## 取組の方向性

児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばすため、安全・安心な教育環境を整備し、多様な学びの機会を確保しながら、学校・家庭・地域が連携して教育の質を高めます。

## 現状と課題

本市では、未来を担う子どもたち一人ひとりが生きる力を育み健やかに成長できるように、学校・家庭・地域が連携した社会総がかりの教育活動を進め、地域に開かれ信頼される学校づくりに取り組んでいます。さらに、全国学力・学習状況調査や県学力診断調査等を活用し、学力向上に向けた取組を展開するとともに、全小中学校への電子黒板や1人1台端末の導入など ICT 環境の整備を進めています。

また、特別支援教育については、保育所・幼稚園・子育て支援関係者と小中学校が緊密に連携し、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援を行っています。さらに、教職員の資質向上や負担軽減のための施策を実施し、教育の質の向上に努めています。こうした取組全体をより効果的に進めるためには、学校・家庭・地域が相互に連携し、子どもたちの学びや成長を多方面から支える体制を強化していくことが重要です。

一方で、学校施設は全小中学校で耐震化工事が完了しているものの、老朽化が進んでおり、今後も計画的な改修が必要です。また、災害発生に備えた実効性のある防災教育や訓練を継続する必要があるため、避難所となる学校施設の整備も進めています。通学路については、危険箇所の点検・把握や対策の継続的な実施が必要です。

学力面では、調査結果を踏まえた効果的な指導方法の改善や、1人1台端末等の ICT 機器を積極的に活用できる環境づくりの継続が必要です。また、家庭や地域の教育力の低下、人間関係の希薄化により、子どもたちへの生活習慣や規範意識、人権感覚の育成、心身の健康づくりなども必要となっています。特別支援教育については、インクルーシブ教育の推進に向けて、更なる体制強化が必要です。

加えて、教職員には高い専門性と対応力が求められる一方で、多忙化による負担感が大きく、子どもと向き合う時間の確保に努めながら、教育の質の向上を図ることが必要です。

学校給食においては、食育を通じて健全な成長を支えるとともに、地産地消を積極的に推進しており、安全性や栄養管理の徹底とあわせ、更なる充実が求められます。

「学校教育の充実」に満足している市民の割合

38.4%



63.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

施策  
1

## 社会総がかりで取り組む教育の推進

- 学校・家庭・地域が連携・協働し、**コミュニティ・スクール**を基盤として学校外の多様な人材とつながりながら、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進め、地域ぐるみで子どもを育てる機運を高めつつ、地域学校協働活動を拡充して地域と一体となった学校活動を推進します。
- 学校の教育活動について、保護者や地域の代表の方などの参画を得ながら学校評価を行い、効果的に活用します。
- 少子化に伴う児童生徒数の減少が続く中、学校運営協議会での活発な熟議を通して、将来に向けた地域における学校のあり方などを探究し、地域の実情に応じた学校づくりを進めます。

基本計画

1

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の「家庭・地域との連携」領域の保護者評価の平均値(点) ※4点満点	3.16 (令和6年度)	3.20 以上 (令和12年度)



▲コミュニティ・スクールでの活動

## 安全・安心な教育環境の整備

- 学校施設の老朽化に伴う大規模改修工事を推進し、安全で安心して学べる教育環境の整備に努めます。
- 地震や豪雨などの自然災害のほか、あらゆる場面を想定した避難訓練などの実効的な防災教育を行い、防災意識の向上に努め、避難場所となる学校施設の整備に取り組みます。
- 通学路の安全点検の継続実施や不審者情報の共有などに努め、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒の安全を確保します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校等施設長寿命化個別計画に基づく長寿命化改修等事業実施棟数累計(棟)	11 (平成31～令和6年度)	20 (平成31～令和12年度)

## 確かな学力を育てる教育の推進

- 全国学力・学習状況調査等の結果分析を行い、効果的な学力向上につながる検証や指導方法等の改善に取り組むとともに家庭学習の重要性について、保護者への啓発に努めます。
- 外国語指導助手や外国語活動支援員により、小学校の外国語活動及び外国語科の充実と中学校の外国語教育への円滑な接続を図り、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。
- ICT 機器を活用し、一人ひとりの学習状況に応じた個別学習や協働学習を行うことにより、教育の質の向上を図ります。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校生活アンケートで「授業がよくわかる」を「あてはまる」と答えた児童生徒の割合(%)	55.0 (令和6年度)	60.0 (令和12年度)

## 施策4

## 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

- 児童生徒が生命を大切にすると心や他人を思いやる心、善悪の判断など道徳性を身に付けられるよう発達段階に応じた効果的な道徳教育と人権教育を、全教育活動を通して推進します。
- 地域の人材や自然を活用した体験学習をはじめ、ミュージカルの観劇など、地域資源を活用した特色ある学校づくりに努めます。
- 市内企業の出前授業や職場体験学習などで地域の将来を担う子どもたちの勤労観や職業観を養うキャリア教育を推進します。
- 学校、家庭及び地域の医療機関等と連携した児童生徒の健康管理を推進するとともに、全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果を基に体力向上に取り組みます。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の「豊かな心、健やかな体を育てる教育」領域の保護者評価の平均値(点) ※4点満点	3.22 (令和6年度)	3.30 以上 (令和12年度)

## 施策5

## 特別支援教育の充実

- 教職員や保護者が特別支援教育について理解を深め、共通認識のもと適切な支援を行うことができるように研修の充実に努めます。
- 保育所、幼稚園、小・中学校及び関係機関がスムーズな連携を図りながら相談体制を充実させ、きめ細かな支援に取り組みます。
- 学校生活支援員の効果的な配置と施設の充実により、児童生徒の学びの場を保障するとともに、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進に努めます。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の「特別支援教育」領域の保護者評価の平均値(点) ※4点満点	3.20 (令和6年度)	3.30 以上 (令和12年度)

施策  
6

## 教職員の資質・能力の向上

- 各種研究会、研修会等について内容の充実を図り、学習指導や生徒指導における教職員の指導力の向上に努めます。
- 部活動地域展開等による教職員の負担軽減や働きやすさの向上、校務DXの推進による学校運営の効率化等を積極的に推進し、教職員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に取り組みます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の教職員評価の平均値(点) ※4点満点	3.45 (令和6年度)	3.50 以上 (令和12年度)

施策  
7

## 学校給食の充実と食育の推進

- 「安全で安心な給食」の充実に向けて、衛生管理の徹底と厨房機器や設備の適切な維持管理及び老朽化した機器の計画的な更新や迅速な修繕に取り組みます。
- 「おいしい給食」の充実に向けて、食材価格を考慮しつつ新鮮で安全な食材を使用し、食事摂取基準に基づいた栄養量を供給できる献立作成に努めます。
- さくら市場給食部会や地元生産者及び地元加工品会社等と連携し、地産地消の更なる推進に努めます。
- 様々な農業体験や、給食センターの見学会、生産者との交流給食などに積極的に取り組むとともに、栄養教諭による巡回指導を行い、食育の更なる推進に努めます。
- 「給食だより」や市ホームページ、施設見学・試食会等を通じて、広く学校給食及び食育の意義を示すとともに、家庭における望ましい食習慣のあり方などの啓発に努めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校給食における市内産食材の使用率(%) ※金額ベース	37.8 (令和6年度)	40.0 (令和12年度)

関連計画 東温市学校等施設長寿命化個別計画／東温市食育推進計画／東温市教育基本方針



▲ICT 機器を活用した授業風景



改築した東谷小学校屋内運動場▲



▲えんどう豆のさやむき体験



## 取組の方向性

いじめや不登校、非行の早期発見・早期対応を徹底し、学校・家庭・地域と関係機関が一体となって、青少年が心身ともに健やかに成長できる環境を整えます。

## 現状と課題

本市では、学校生活アンケートや「いじめ防止のための基本方針」の改定など、いじめや不登校を早期に発見し、対応する体制が整備されています。スクールソーシャルワーカーや相談員等による生活支援、教育支援教室での学習支援も行っていますが、不登校児童生徒数は全国的に増加傾向にあり、本市でも継続的な対応が求められます。

地域ぐるみの健全育成活動も活発で、巡回補導や声かけ運動、有害環境の浄化などを実施していますが、活動の担い手確保や若年層への参加促進が課題です。また、教育相談室による支援は定着していますが、相談内容の複雑化や長期化に対応できる体制の強化も必要です。

### まちづくり目標値

「青少年の健全育成」に満足している市民の割合

27.7%

令和6年度 現状値

57.0%

令和12年度 目標値

## 施策 1

## いじめ・不登校への組織的対応

- いじめの防止等への取組の重要性について、市民全体に認識を広め、学校・家庭・地域と関係機関が連携して取組を推進します。
- いじめの防止等のための対策が専門的知識に基づき適切に行われるよう、教職員研修の充実と専門家による教育相談体制の整備に努めます。
- いじめの未然防止、早期発見、早期対応について組織的に取り組みます。
- 不登校対策のための非常勤講師、**スクールソーシャルワーカー**等を小中学校に継続して配置するとともに、**教育支援教室**において、相談及び指導を行い、不登校児童生徒支援の充実や教育機会の確保を図ります。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
1,000人当たりの不登校児童生徒数(人)	41.5 (令和6年度)	40.0 (令和12年度)

## 施策 2

## 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進

- 青少年補導センターを軸として、学校、地域、関係機関等と連携を図り、補導活動の充実と有害環境の浄化に努めます。
- いじめ、不登校、非行、学習方法等の教育問題全般について児童・生徒、保護者からいつでも安心して相談できるよう教育相談活動の充実に努めます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
街頭補導活動の平均参加者数(人)	10.0 (令和6年度)	11.0 (令和12年度)

関連計画 東温市いじめ防止等のための基本方針／東温市自殺対策計画



## 取組の方向性

誰もが年齢や立場を問わず学び合い、自己の可能性を広げながら地域に生かせる環境を整え、学びを通じた人と人とのつながりを深めます。

## 現状と課題

本市では、情報化社会の進展や少子高齢化、価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民の生涯学習ニーズが複雑化・多様化する中で、幅広い世代を対象にした各種講座や文化活動を実施し、学習と交流の拠点づくりを推進するため、公民館の改修を進めています。また、文化協会や各種団体と連携したコンサートや文化祭の開催などを通じて、地域文化の振興に取り組んでいます。読書活動については、学校図書館との連携を進めており、子どもが読書に親しむ環境づくりを行っています。

一方で、公民館活動は参加者層が固定化する傾向があり、年代や興味の多様化に応じた柔軟な企画が求められます。公民館以外での発表・展示機会の拡大や活動支援制度の充実も課題です。図書館については、施設の老朽化や利用者のライフスタイルの変化に伴い、快適で魅力ある空間づくりの工夫が必要です。

また、インターネットや情報メディアの普及によって、子どもの「読書離れ」が深刻化しており、家庭での読書活動の重要性を再認識する必要があります。学校図書館との連携は進められているものの、子どもの読書習慣づくりやイベント参加促進には、より効果的なアプローチが求められます。

### まちづくり目標値

「生涯学習社会の推進」に満足している市民の割合

33.7%

令和6年度 現状値

61.0%

令和12年度 目標値

## 学び合い高め合う生涯学習の推進

- 学び合い高め合うことができるまちを実現するため、様々な変化に応じた生涯学習機会の提供、学習内容の向上に努めます。
- 公民館を拠点に活動している団体が、その成果を発表するなど、地域での活動に貢献できるよう、体制の整備に努めます。
- 社会教育関係団体等との連携を強化し、活動の支援体制の充実に努めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
公民館利用団体数(団体)	200 (令和6年度)	250 (令和12年度)

## 読書活動の推進と図書館利用の促進

- 市民ニーズを的確に把握し、新鮮で魅力ある図書館づくりに努めるとともに、松山圏域等、他の公立図書館との連携を推進します。
- 誰もが本と親しみ、読書を楽しめる環境を整えるとともに、学校や地域と連携して学びと成長を支える読書活動を推進します。
- 配本活動の充実と強化に努めながら、移動図書館車巡回場所の充実を図り、全市的なサービス網の整備を推進します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
図書貸出者数(人)	61,179 (令和6年度)	62,000 (令和12年度)

関連計画 とうおん子ども読書活動推進計画



## 取組の方向性

地域に息づく文化や歴史を受け継ぎ、誰もが文化や芸術に親しみ、創造的な活動に参加できる環境を整えます。

## 現状と課題

本市では、文化協会や各種団体と協働し、文化祭やコンサートなど多様な文化行事を実施しており、市民が文化芸術に触れる機会を広げています。文化財・歴史資料については、収蔵庫の整備や保存環境の改善、デジタルアーカイブの構築を進めています。また市内には、国指定文化財4件、県指定文化財7件、市指定文化財58件に加え国登録文化財が2件あり、先人から受け継がれた合わせて70件を超える文化財は、地域の歴史や文化を物語る貴重な財産となっています。

さらに、本市は「アート・ヴィレッジとうおん構想」を推進しています。舞台芸術を中心として文化芸術に関わる「仕事」と「学びの場」を創出し、全国からアーティストを呼び込んで、地域発の文化芸術を発信してきました。平成30(2018)年に開設した「東温アートヴィレッジセンター」は、小劇場・稽古場・交流サロンを備え、市民や来訪者が文化芸術を身近に体験できる拠点となっています。

一方で、人口減少に伴う伝統文化の担い手不足や、温湿度管理をはじめとする文化財の保存環境の整備は、昨今の文化財行政における喫緊の課題となっています。これらの課題解決に向け、デジタル資料の活用による認知度向上を図るとともに、市民の文化・歴史への理解を深めるための取組を推進する必要があります。また、伝統行事の次世代継承に不安があることから、文化財や伝統文化を学習資源や地域振興の資源として活用し、郷土愛を育む取組が求められます。

これまで取り組んできた「アート・ヴィレッジとうおん構想」については、文化協会などの市民団体等との連携を深め、市民がより親しみやすく気軽に文化芸術に触れることのできる取組へと発展させていくことが求められます。

### まちづくり目標値

「文化財の保護と文化芸術の振興」に満足している市民の割合

32.2%

60.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「文化・スポーツの推進」に関するアンケート結果

施策  
1

## 文化活動・鑑賞機会の充実

- 文化祭やコンサートなどを各種団体と協働して開催します。
- 民間劇場などとの連携により、多様な芸術・文化を鑑賞する機会を拡充します。
- 市民が活動成果を発表できる場を広げ、文化活動の活性化を図ります。
- 地域や世代を超えた文化交流イベントを実施します。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
市が主催・共催等をした文化芸術イベント開催回数(回) ※中央公民館・川内公民館開催分	5 (令和6年度)	10 (令和12年度)

施策  
2

## 文化財・歴史資料の保存と活用

- 先人が築き永く守り伝えてきた文化財・歴史資料を次世代へ継承するため、それらの保護に取り組みます。
- 地域に残された伝承文化を継承していくため、デジタルデータの活用や後継者の育成支援等を通じて、体制強化を目指します。
- 収集資料を企画展示や歴史民俗資料館収蔵庫で積極的に公開するとともに、構築した収蔵資料データベースをホームページで情報公開するなど、市民の歴史・文化に対する意識高揚を図ります。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
歴史民俗資料館利用者数(人)	2,515 (令和6年度)	2,800 (令和12年度)
文化財・収集資料データベース公開件数(件)	10,155 (令和6年度)	11,000 (令和12年度)

## 文化芸術による地域活性化の推進

- 市民が主体となる多様な舞台芸術活動を推進し、文化芸術を通じた共感と交流の場を創出します。
- 文化芸術人材の育成や教育分野との連携を進め、次世代の担い手を育てます。
- 民間団体や福祉、観光などの各種分野と連携し、文化芸術を生かしたまちづくりの体制を整えます。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
東温アートヴィレッジセンター利用者数累計(人)	106,786 (平成30～令和6年度)	200,000 (平成30～令和12年度)

### 関連計画 とうおんアート共創ビジョン



▲文化祭(オープニングフェスティバル)



▲文化祭(作品展示)



▲東温市民ミュージカル



アトリエ NEST▲



▲シアターNEST



リハーサルホール NEST▲



## 取組の方向性

年齢や体力、関心に応じて誰もが参加しやすいスポーツ機会を  
 を広げ、地域や関係団体と連携して、生涯にわたり健康で活  
 力ある生活を送ることができる環境を整えます。

## 現状と課題

本市では、総合公園をはじめ、ツインドーム重信や川内体育センター、かすみの森公園多目的広場、市内小中学校の体育館・運動場など多様なスポーツ環境を市民に提供し、利用促進を図っています。「東温市スポーツ推進計画」に基づき、年齢や体力に応じたスポーツ機会を提供し、スポーツ協会やスポーツ少年団、地域団体と連携した大会や教室の開催を通じて、健康増進と交流促進に取り組んでいます。さらに、プロスポーツ団体との協働によるイベントや指導者育成も進めています。

また、スポーツは健康保持や体力増進だけでなく、地域の新たなコミュニティ形成に重要な役割を担っており、本市でも各種大会や地域活動を通じて市民の交流と活力向上に寄与しています。

一方で、市民スポーツ大会では、人口減少・高齢化の進行などにより、参加者層の固定化や種目の偏りも見られることから、ニュースポーツの導入や複数地区合同での参加など、幅広い世代が楽しめる仕組みづくりが求められます。また、子どもの体力低下、人と人とのつながりの希薄化、競技団体の高齢化など、社会変化に伴う課題も顕在化しています。さらに、プロスポーツ団体との協働事業については、成果を継続的に発展させる仕組みづくりが課題となっています。

スポーツ施設の管理においては、老朽化の進行に対応し、計画的な修繕を行っていく必要があります。また、令和7(2025)年度から段階的に利用を開始している「東温スポーツフィールド」の活用と適正な管理が必要です。

＼ まちづくり目標値 ／

「スポーツ活動の推進」に満足している市民の割合

32.2%

60.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「文化・スポーツの推進」に関するアンケート結果

## 施策1

## スポーツ環境の充実と利活用促進

- 市民がスポーツに親しむ場として、子どもから高齢者まで、誰もが利用しやすい施設等の充実と利活用の促進を図ります。
- 東温スポーツフィールドを活用して、市民はもとより、市外からも人を呼び込み、スポーツを核としたにぎわいの創出や地域経済の活性化につなげます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
東温スポーツフィールド利用者数(人)	建設中※ (令和6年度)	90,000 (令和12年度)

※ 令和7(2025)年度から順次オープン

## 施策2

## 市民参加型スポーツ活動の推進

- すべての市民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、市民スポーツ大会などの多様な参加機会を提供し、健康づくりと地域の活性化につながるスポーツ活動を推進します。
- 年齢や体力に関係なく楽しめるニュースポーツ(モルック・ボッチャなど)の普及・啓発を行い、幅広い層の参加を促します。
- スポーツ関係団体等との連携を強化し、競技力の向上や指導体制の充実を図ります。
- プロスポーツ団体と協働し、観戦機会やイベントを通じてスポーツへの関心を高めます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
プロスポーツ関係団体との連携イベント等開催回数(回)	5 (令和6年度)	10 (令和12年度)

関連計画 東温市スポーツ推進計画



## 政策方針2

# 安全・安心が守られるまちづくり



▲消防訓練

政策1 防災・減災対策の充実

政策2 消防体制の強化

政策3 防犯・消費生活・交通安全対策の充実



## 取組の方向性

地域と行政が一体となり、多様な災害リスクに対応できる総合的な防災・減災体制を強化します。

## 現状と課題

市民アンケートにおいて、防災・減災対策は重要度・満足度ともに上位の取組となっており、市民の関心度が非常に高い項目です。

今も排出され続けている温室効果ガスの増加によって地球温暖化は進行し、大雨等極端現象の頻度が増えると予測されており、今後の豪雨災害等の更なる頻発化・激甚化等、将来世代にわたる影響が強く懸念されています。本市では、国や県の指針に基づき「地域防災計画」を定期的に見直し、それに伴う関連計画の適切な見直しや訓練内容の改善等に取り組んできました。総合防災訓練や水防工法訓練を実施することで地域防災力の向上を図っていますが、南海トラフ地震など甚大な被害が想定される災害に備えるには、行政の力だけでは限界があるのが実情です。

そのため、「自助」「共助」を支える自主防災組織や防災士の役割が一層重要です。これまで、防災士資格取得への助成や研修を通じた地域防災リーダーの育成は進んできたものの、地区ごとの活動には差があり、地域全体の底上げが必要です。

さらに、急傾斜地の崩壊や河川の氾濫、市街地での浸水といった災害リスクも依然として存在しており、治山・治水・浸水対策を継続して進める必要があります。また、災害時に必要となる資材や備蓄品の確保、避難所・避難路の周知徹底といったハード・ソフト両面での備えを一層充実させることが求められます。

### まちづくり目標値

「防災・減災対策の充実」に満足している市民の割合

56.9%

75.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「消防体制と防災・減災対策の充実」に関するアンケート結果

## 施策1

## 地域防災力の強化

- 減災の考え方を基本に、人命の保護と被害の最小化を最優先し、自助・共助・公助の連携のもと、地域・事業者・関係機関・行政が協力して災害に強い地域を目指します。
- 自主防災組織の活動を支援し、資機材の整備を図ります。
- 防災士資格取得を支援し、研修を通じて防災リーダーを育成します。
- 防災士と自主防災組織が連携して、個別避難計画の作成や防災講座を実施します。
- 総合防災訓練や水防工法訓練を充実させ、地域の実践力を高めます。

## 目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
市支援等による防災士資格取得者数累計(人)	212 (平成20～令和6年度)	300 (平成20～令和12年度)

## 施策2

## 避難体制と備蓄の充実

- 避難経路の照明・案内板の設置や更新と避難所の整備を進め、避難経路や避難所の周知徹底を図ります。
- 避難所における備蓄物資の計画的確保を図ります。

## 目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
食料の備蓄数(食)	12,924 (令和6年度)	15,500 (令和12年度)



▲指定避難所空調設備



▲飲料水兼用耐震性貯水槽

施策  
3

## 治山・治水・浸水対策の推進

- 国や県と連携し、土砂災害防止や河川改修など、治山・治水対策を推進します。
- 浸水被害軽減に向け、排水路や調整池の整備・改良を推進します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
浸水箇所数(箇所)	12 (令和6年度)	9 (令和12年度)

施策  
4

## 防災情報の発信と連携の強化

- 防災アプリや SNS を活用し、災害時の情報発信と安否確認を迅速化します。
- 企業・学校・福祉団体と防災協定を結び、協働体制を構築します。
- 災害時応援協定を見直し、資材や建設系車両の調達体制を整備します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
災害時応援・防災協定締結数(件)	81 (令和6年度)	100 (令和12年度)

関連計画 東温市国土強靱化地域計画／東温市地域防災計画

東温市からの情報を簡単に受け取れるアプリが登場しました!

# とうおんアプリ

Toon App

## DEBUT!!

東温市イメージキャラクターのとうおん

**アプリ機能 1 防災情報**

防災行政課の音声や市からの緊急情報を受け取れます。

**アプリ機能 2 市からのお知らせ**

暮らしに役立つ市からのお知らせを手軽に受け取れます。

**アプリ機能 3 防災マップ情報**

市が発行している防災マップの情報を確認できます。

**アプリ機能 4 いざという時に**

災害時の安否確認や役立つツクール集

**Google Play・App Store からダウンロード!**

Android 4.2以上

Google Play  
ダウンロード

iPhone 4.2以上

App Store  
ダウンロード

お問い合わせ 東温市役所 危機管理課 TEL 089-964-4483  
〒791-0292 愛媛県東温市東原530番地1 <https://www.city.toon.ehime.jp>

**アプリ機能 1 防災情報**

防災行政課の音声や市からの緊急情報を受け取れます。

**アプリ機能 2 市からのお知らせ**

暮らしに役立つ市からのお知らせを手軽に受け取れます。

**アプリ機能 3 防災マップ情報**

市が発行している防災マップの情報を確認できます。

**アプリ機能 4 いざという時に**

災害時の安否確認や役立つツクール集

**アプリの登録方法**

**ステップ 1**

ストアからアプリのダウンロードを行う

**ステップ 2**

アプリを起動する

**ステップ 3**

アプリの設定を入力する

**ステップ 4**

防災情報を確認できます

お問い合わせ 東温市役所 危機管理課 TEL 089-964-4483  
〒791-0292 愛媛県東温市東原530番地1 <https://www.city.toon.ehime.jp>

▲とうおんアプリチラシ



▲備蓄品



▲増水時の表川



## 取組の方向性

消防・救急体制を強化し、市民が安心して暮らせる安全な地域社会を実現します。

## 現状と課題

本市では、消防体制の充実のため、消防職員の人員確保に努め、災害対応力の維持・向上に取り組んでいます。また、老朽化が進む消防車両や資機材について、計画的に更新を進めるとともに、消防指令センターの共同運用を中心とした松山圏域での連携を強化し、災害発生時の情報共有や相互応援体制の充実を図っています。

消防団では、消防団施設管理計画に基づく修繕や更新、消防団ポンプ自動車への救助資機材の整備により、大規模災害時の対応力は一定程度強化されています。さらに、年間を通じて各種訓練を実施することで、団員の技術力向上も図られています。しかし、全国的な傾向と同様に、消防団員の高齢化や人員不足が課題であり、地域住民への広報活動による団員確保を一層進める必要があります。

救急体制では、救急需要の増加に対応するため、救急救命士の養成を継続的に進め、高度な救命処置を行える体制づくりにも取り組むほか、様々な症例に幅広く対応できるよう医療機関との連携強化を進めています。また、救命講習や応急手当普及員の育成を継続的に行い、市民の救命率向上につなげてきました。特に学校や保育施設の職員を普及員として育成したことにより、応急手当の裾野は広がっています。心肺停止などの緊急時に備え、市民が適切に心肺蘇生を行えるよう、最新の知識や技術を普及・周知していくことが不可欠です。今後も消防・救急両面において、市民の安全・安心を支える体制の充実が求められます。

＼ まちづくり目標値 ／

「消防体制の強化」に満足している市民の割合

56.9%

75.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「消防体制と防災・減災対策の充実」に関するアンケート結果

施策  
1

## 消防体制の充実

- 消防職員の人員確保や消防車両・資機材の更新を進め、災害対応力の維持・強化を図ります。
- 松山圏域での連携を強化し、広域的な応援体制を充実させます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
出火率(件) ※人口1万人当たりの火災件数	3.2 (令和6年度)	2.0 (令和12年度)

施策  
2

## 消防団の活動強化

- 消防団施設を計画的に更新・修繕し、ポンプ自動車や救助資機材を整備します。
- 年間を通じた訓練を実施し、消防団員の技術力を高めます。
- 広報活動を通じて団員の確保を進め、組織力を維持・強化します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
消防団員数(人)	579 (令和6年度)	638 (令和12年度)

施策  
3

## 救急・救命体制の充実

- 救急救命士の養成を推進し、高度な救命処置が可能な体制を整えます。
- 高齢者や小児救急に対応できるよう、医療機関との連携を強化します。
- 救命講習の開催方法の検討や応急手当の普及啓発を継続して行います。
- 応急手当普及員を育成し、学校・保育施設等を通じて地域全体の救命力を高めます。
- 市民や指導員が心肺蘇生を適切に行えるよう、周知・研修を徹底します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
救命講習受講者数(人)	1,761 (令和6年度)	2,000 (令和12年度)



## 取組の方向性

犯罪や事故、消費生活の不安を未然に防ぎ、子どもから高齢者まで安心して暮らせる生活環境を整えます。

## 現状と課題

本市では、市民が安全に安心して暮らせる環境を整えるため、防犯、消費生活、交通安全の各分野で施策を進めています。防犯面では、関係機関や地域団体と連携したパトロールや啓発活動により地域安全活動が広がり、児童生徒の登下校時の見守り活動や通学路安全点検も継続されています。しかし、不審者の発生は続いており、防犯カメラの設置やデジタル技術を活用した情報連絡体制の強化が引き続き求められます。

消費生活分野では、県や警察と連携した相談体制の整備や高齢者向けの啓発により、一定の成果を挙げてきました。特に消費生活相談員の配置や、詐欺防止研修、子どもへの出前授業など教育的な取組は進展しています。しかし、高齢者を狙った**特殊詐欺**や、若年層を対象とするインターネット関連トラブルが増加傾向にあり、相談・教育体制の一層の強化が必要です。

交通安全分野では、「交通安全計画」に基づき、交通安全教室や啓発活動、免許返納制度の活用、公共交通利用促進、交通安全施設整備などを実施してきました。その結果、子どもや高齢者を対象とした交通事故防止には一定の成果が見られます。一方で、高齢者による事故の抑止、計画の見直し、通学路を含む危険箇所の継続的改善が今後も求められます。

### まちづくり目標値

「防犯・消費生活・交通安全対策の充実」に満足している市民の割合

46.0%

67.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

施策  
1

## 防犯対策の推進

- 地域・学校・PTA と連携し、登下校時の見守り活動を継続します。
- 防犯カメラの設置やデジタル技術の活用により、不審者対策を強化します。
- 防犯灯の LED 化を推進し、夜間の犯罪防止と安全性を高めます。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
市内の防犯灯の LED 化率(%)	76.6 (令和6年度)	80.0 (令和12年度)

施策  
2

## 消費生活の安心確保

- 消費生活相談体制を充実させ、啓発活動によりトラブルを未然に防止するとともに、県・警察と連携して対応します。
- 高齢者を狙った詐欺被害防止に向け、福祉部局とも連携した啓発を行います。
- 小中高生を対象に、詐欺やインターネットトラブル防止等の消費者教育を実施します。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
消費者関係出前講座参加者数(人)	483 (令和6年度)	700 (令和12年度)



▲登下校の見守り

## 交通安全対策の推進

- 年齢層に応じた交通安全教育・啓発を行います。
- 学校・幼稚園・保育所での交通安全教室を実施し、子どもの事故防止を図ります。
- 高齢者の免許返納を促進し、公共交通利用を支援します。
- カーブミラーやガードレールの整備・点検・修繕、バリアフリー化を進めるとともに、通学路の安全点検を実施し、危険箇所の改善を図ります。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
セーフティーアドバイザーによる高齢者世帯訪問件数(件)	1,450 (令和6年度)	1,450 (令和12年度)
カーブミラー・ガードレール要望箇所への設置率(%)	100.0 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

関連計画 東温市交通安全計画／東温市通学路安全対策プログラム



▲セーフティーアドバイザー活動



▲交通安全教室

### 政策方針3

## 誰もが健やかに暮らせるまちづくり



▲東温市総合保健福祉センター

- 政策1 生涯を通じた健康づくりの推進
- 政策2 地域福祉体制づくりの推進
- 政策3 高齢者・障がい者施策の充実
- 政策4 社会保障の充実



## 取組の方向性

誰もが健やかに暮らし続けられるよう、支え合いとつながり  
の中で健康づくりを進めるまちを目指します。

## 現状と課題

本市では、「東温市健康増進計画」及び「東温市食育推進計画」をはじめとする各種計画に基づき、生涯を通じた健康づくりを総合的かつ計画的に推進してきました。

総合保健福祉センターを中心とした健康づくりに関する各種事業の実施をはじめ、保健所や医師会、歯科医師会、大学などの関係機関と連携しながら、市民の健康意識の向上を図るイベントや啓発活動、自主的な健康づくり活動の支援など、市民とともに歩む取組が積み重ねられています。

さらに、救急医療体制の広域連携や感染症対策、予防接種体制の整備などにおいても、国や県の方針に即した柔軟な対応に努めました。

健診事業では、コロナ禍における受診控え以降、普及啓発や受診勧奨を実施し、受診者数は徐々に増加傾向です。受診率の一層の向上や生活習慣病の発症予防、重症化予防の更なる推進が求められます。加えて、心の健康に不安がある市民への対応は今後も継続的に求められるほか、デジタル技術の活用や若年・働き盛り世代へのアプローチなど、今後の計画において見据えていく必要があります。

社会の多様化や**人生 100 年時代**の将来的な到来を踏まえ、集団や個人の特性をより重視しつつ健康づくりを行うことが重要です。

現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性があることや、次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があるものであり、胎児期から高齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えた健康づくりの観点を取り入れ、誰一人取り残さない健康づくりの取組が求められます。

今後は、関係機関とより一層連携し、市民一人ひとりの主体的な健康行動を支えるための環境整備と、多様なニーズに応じた柔軟な支援を充実することが必要です。

＼ まちづくり目標値 ／

「生涯を通じた健康づくりの推進」に満足している市民の割合

66.6%



81.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「生涯健康づくりの推進」に関するアンケート結果

## 市民主体の健康づくりの促進

- 市民が自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善につなげられるよう、**特定健診**やがん検診の受診を促進します。
- 各年代に応じた教室・講座・イベントを実施し、健康づくりのきっかけとなる機会を継続的に提供します。
- 健康づくりを推進する自主組織活動を支援し、社会参加を通じて健康づくりに取り組む環境を整備します。
- デジタル技術を活用し、健康づくりを楽しみながら継続できる仕組みづくりに取り組みます。
- わかりやすい広報や啓発を通じて、市民の主体的な健康行動の定着を図ります。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
特定健診受診率(%)	36.8 (令和6年度)	60.0 (令和12年度)
健康教室等参加者数(人)	2,538 (令和6年度)	2,600 (令和12年度)

## 地域資源と関係機関を生かした支え合い体制の充実

- ライフステージに応じた食と健康の取組を通じて、健康の保持増進や疾病予防を目指し、家庭、学校、地域、企業、関係団体、行政等が連携し、地域社会全体で、健康づくりが実践できる体制づくりを行います。
- 健康診査の結果に基づいた個別の相談対応を関係機関と連携して行います。
- 関係機関と連携して定期予防接種を確実に実施し、健康リスクの低減を図ります。
- 保健・医療・福祉の関係機関と多職種協働により、包括的な健康支援体制を強化します。
- 関係機関が参加する健康づくり推進協議会等を通じて地域の健康課題を共有し、必要な対策を計画的に検討・実施します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
地域の人々とのつながりが強いと思う人の割合(%) ※20～84 歳	45.8 (令和5年度)	48.0 (令和12年度)

## 地域医療体制の充実と感染症対策の強化

- 地域の医療機関と平時から連携し、医療・救急体制の確保に取り組み、市民が安心して利用できる医療体制を整えます。
- 感染症の発生に備え、国や県と平時から情報共有を行うなど、連携体制を強化するとともに、感染症対策物資等の備蓄・管理を徹底します。
- 感染症予防に関する啓発や情報発信を強化し、市民の正しい理解と予防行動を促進します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
感染症対応用マスクの備蓄数(枚)	2,000 (令和6年度)	5,000 (令和12年度)

### 関連計画

東温市健康増進計画／東温市食育推進計画／東温市自殺対策計画／東温市こども計画／東温市新型インフルエンザ等対策業務継続計画／東温市新型インフルエンザ等対策行動計画



▲健康診査



健康講座▲



▲健康教室



感染症対策備蓄品▲



## 取組の方向性

温かい心と助け合いの輪を広げ、誰もが支え合い笑顔で暮らせる地域福祉体制を整えます。

## 現状と課題

少子高齢化やライフスタイルの多様化、情報化社会の進展などにより、地域や家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、孤独や孤立、いじめや虐待、子育てや介護への不安など、地域が抱える課題は多様化・複雑化しています。

本市では、これらの課題を解決するため、関係機関や団体と連携し、庁内横断的な体制を整えながら、地域の福祉ニーズを的確に把握・共有し、事業を推進してきました。

一方、地域福祉を支える重要な役割を担う社会福祉協議会や民生委員・児童委員、ボランティア、NPO 法人などにおいては、担い手不足やこれらの活動に対する関心の低下といった課題が顕著化しており、地域福祉活動を持続可能にする仕組みづくりが求められます。

### まちづくり目標値

「地域福祉体制づくりの推進」に満足している市民の割合

42.9%

令和6年度 現状値

68.0%

令和12年度 目標値

施策  
1

## 地域福祉活動の担い手育成・支援

- 社会福祉協議会や民生委員・児童委員、福祉団体の活動を支援します。
- 福祉ボランティアを育成し、身近な地域単位のネットワーク形成を目指します。
- 広報・啓発活動や福祉教育、福祉イベントを通じ、市民の福祉意識を高めます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
民生委員・児童委員充足率(%)	98.5 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

施策  
2

## 地域福祉における連携と支援体制の充実

- 地域に暮らすすべての人が支え合い、安心して生活できるよう、社会福祉協議会や関係機関・団体等との連携を強化し、人づくり・体制づくり・地域づくりを推進します。
- 地域の福祉ニーズを把握・共有し、情報提供・相談体制を整備します。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
ボランティア(福祉)登録者数(人)	837 (令和6年度)	1,000 (令和12年度)

施策  
3

## 誰もがともに暮らせる地域づくり

- 保護司や更生保護関係機関と連携し、再犯防止や社会復帰支援のための取組を推進します。
- 犯罪や非行をした人が、孤立することなく地域で更生することができるよう、更生保護の支援に取り組みます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
社会を明るくする運動行事参加者数(人)	197 (令和6年度)	250 (令和12年度)

関連計画 東温市地域福祉計画／東温市再犯防止推進計画

SDGs



取組の方向性

高齢者も障がいのある人も、地域の中で支え合いながら安心して暮らし、生きがいを持って笑顔で過ごせるまちを目指します。

現状と課題

本市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、介護予防サービスや地域支援事業等の支援を通じて、地域包括ケアシステムを推進しています。通いの場やサロンにおいて、介護予防活動、健康教育やフレイル予防などが進められていますが、参加者が固定化する傾向もあることから、より幅広く高齢者が気軽に参加できる仕組みづくりが必要です。また、介護サービスの適切な提供、孤立高齢者への見守りや生活支援、認知症対策の強化など、地域包括ケアシステムの取組をさらに深化させていく必要があります。

障がい者施策では、改正障害者差別解消法の施行に伴う合理的配慮の義務化を踏まえ、正しい理解と認識を広める啓発活動を推進しています。教育や就労支援、スポーツや文化活動への参加促進、医療・福祉・教育の連携による支援など、分野を横断した取組を展開していますが、地域生活を継続的に支える相談体制の強化や、保育・療育分野における早期発見・早期対応、公共施設を中心としたバリアフリー化などの更なる推進が必要です。

こうした状況を踏まえ、高齢者も障がいのある人も地域で安心して暮らし、生きがいを持って活動できる体制を整備していく必要があります。

まちづくり目標値

「高齢者・障がい者施策の充実」に満足している市民の割合

37.5%

64.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「高齢者施策の充実」と「障がい者施策の充実」に関するアンケート結果の平均値

## 施策1

## 介護予防の推進と介護保険サービスの適切な提供

- 高齢者一人ひとりが自主的に介護予防に取り組み、健康で自立した生活を送ることができるよう、介護予防の推進及び生活支援の充実を図ります。
- 介護が必要になった場合でも、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう、介護保険サービスの利用を支援するとともに、サービスの適切な提供に努めます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
自立高齢者の割合(%)	79.7 (令和6年度)	80.2 (令和12年度)
自主運動グループの活動拠点数(箇所)	20 (令和6年度)	30 (令和12年度)

## 施策2

## 高齢者福祉サービスの提供と生きがいづくりの推進

- 様々な福祉サービスを通じて、高齢者が安心して日常生活を送ることができるよう支援します。
- 高齢者の就労やボランティア活動への参加を後押しします。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
ハッピーサポート活動会員数(人)	40 (令和6年度)	100 (令和12年度)

施策  
3

## 地域における高齢者の見守りと認知症施策の推進

- 高齢者が安心して暮らせるよう、地域住民やボランティア等が連携・協働して見守ることができ体制の充実・強化を図ります。
- 認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるよう、認知症施策に取り組みます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
認知症キャラバンメイト活動会員数(人)	26 (令和6年度)	30 (令和12年度)

施策  
4

## 障がいの有無にかかわらず安心して暮らせる地域づくり

- 相談支援体制の強化、障がい特性やニーズに応じた多様なサービスの提供に努めます。
- 公共施設等のバリアフリー化を推進し、障がいの有無にかかわらず、地域で安心して自立した生活を送ることができる環境の整備を推進します。
- 医療費助成など、経済的な支援を行います。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
施設入所者の地域生活への移行者数累計(人)	2 (令和6年度)	10 (令和6～12年度)

## 障がいの有無にかかわらず活躍できる地域の実現

- 教育・療育を充実させ、支援を要する人の早期発見・早期支援につなげます。
- 就労支援や企業との連携強化、就労機会の創出に努めます。
- スポーツや文化活動への参加を促進し、障がいの有無にかかわらず活躍できる機会の創出に努めます。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
就労定着支援事業利用者数(人)	7 (令和4～6年度)	15 (令和10～12年度)

#### 関連計画

東温市高齢者福祉計画・介護保険事業計画／東温市避難行動要支援者支援プラン／東温市健康増進計画／東温市障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画／東温市こども計画



▲介護予防事業(すまいる筋トレ)



▲障がい者施設生産品販売会



## 取組の方向性

すべての人が安心して暮らせるよう、切れ目のない社会保障の体制を整え、持続可能で公平な制度運営を進めます。

## 現状と課題

本市では、生活困窮者への支援、医療保険・年金制度の運営など社会保障の各分野において、関係機関と連携しながら包括的な取組を進めてきました。生活困窮者への自立支援や就労支援などを実施し、経済的な困難を抱える人々へ対応していますが、困窮の背景には就労・心身の健康・住まい・家計など多様な要因が複雑に絡んでおり、より継続的かつきめ細やかな支援が求められます。

医療保険制度については、ジェネリック医薬品利用率が全国目標を上回る成果を上げ、**特定健診**の受診率も徐々に伸びてきており、継続的な取組が必要です。また、健康格差の縮小や生活習慣病の重症化予防といった観点から、保健事業の更なる充実が求められます。

国民年金については広報活動や相談窓口の整備を進め、市民の理解促進を図ってきましたが、未加入者や納付困難者の存在は依然として課題であり、関係機関と連携した対応強化が不可欠です。こうした中、社会保障制度全体の持続可能性を確保しながら、誰もが安心して生活できる体制づくりが求められます。

### まちづくり目標値

### 「社会保障の充実」に満足している市民の割合

38.4%

65.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

## 生活困窮者への包括的支援

- 自立相談支援や就労支援などにより、生活困窮者の課題に合わせたきめ細やかな支援を行います。
- 関係機関との連携を強化し、生活保護の適正な運用と自立に向けた助言・指導を徹底します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
生活困窮者自立相談支援事業プラン作成件数(件)	20 (令和6年度)	25 (令和12年度)
被保護者就労支援事業利用者数(人)	10 (令和6年度)	12 (令和12年度)

## 医療保険制度の適正運営

- **特定健診**の受診率向上に向けた広報や受診環境整備を進め、生活習慣病の予防・重症化防止を図ります。
- **レセプト点検**やジェネリック医薬品利用促進により医療費を適正化し、国民健康保険制度・後期高齢者医療制度を健全に運営します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
ジェネリック医薬品普及率(%) ※国民健康保険	86.4 (令和6年度)	88.0 (令和12年度)

施策  
3

## 国民年金制度の周知と加入促進

- 広報や相談窓口の充実を通じて、国民年金制度への理解と関心を高めます。
- 未加入者の解消や保険料の納付、免除・猶予手続きを関係機関と連携して推進します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
国民年金保険料納付率(%)	85.5 (令和6年度)	87.0 (令和12年度)

関連計画

東温市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・特定健康診査等実施計画／東温市健康増進計画／東温市高齢者福祉計画・介護保険事業計画／東温市税徴収計画



▲ 社会福祉課相談窓口

## 政策方針4

# にぎわいと活力を育むまちづくり



▲東温スマートインターチェンジと工業団地

- 政策1 農林業の振興
- 政策2 商工業の振興
- 政策3 観光・物産の振興
- 政策4 雇用の創出



## 取組の方向性

自然と共生しながら「食と農」を地域の魅力として育み、持続可能な農林業の振興と地域資源を生かした暮らしづくりを推進します。

## 現状と課題

本市では、米麦などの基幹作物を主軸とした農業を展開しており、生産基盤の維持や環境との調和を図りながら、持続可能な農業経営に取り組んでいます。また、営農指導や農業用機械の整備支援、新規就農者への資金交付など、持続的な農業経営を支える取組を進めています。市内では環境保全型農業に取り組む農業者への助成や農業用廃プラスチック回収支援、森林整備や林道整備など、環境や基盤面での事業も展開しています。

しかし、担い手の確保・育成や地域計画の策定を通じた農地の集積・集約化等の取組はおおむね計画どおりに取り組んでいる一方で、中山間地域の集落営農組織は構成員の高齢化などにより、運営を継続することが厳しくなっているほか、営農計画の未提出者や潜在的未申請者が多いことも課題です。また、鳥獣対策面でも、捕獲従事者の高齢化が進み、後継者不足が深刻化しています。

農産物についても、差別化やブランド化が十分でなく、加工特産品開発には専用設備や連携先の不足といった課題があります。さらに、農業用施設や林道施設などの老朽化が進んでおり、効率的な保全や更新が求められます。

市民アンケートでは「観光資源や特産品、地域の魅力が少ない」との指摘が上位に挙がり、市民ワークショップでも「食と農」「自然と農のある暮らし」といったキーワードが出されました。こうした市民の声は、農林業を単なる産業として捉えるだけでなく、暮らしや観光、交流と結びつけ、地域の魅力や誇りにつなげていくことの必要性を示しています。

＼ まちづくり目標値 ／

「農林業の振興」に満足している市民の割合

19.7%

52.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

## 持続可能な農業と担い手の育成

- 地域計画制度を通じた、農地の集積・集約化を推進します。
- 集落営農**や法人化の促進、新規就農者への研修・資金支援を継続し、担い手の確保・育成や各種支援に取り組みます。
- 食の安全・安心と環境に配慮した農業の推進を図るため、環境保全型農業への支援、農業用廃プラスチックの適正処理などを推進します。
- 有害鳥獣対策では猟友会等と連携しつつ、新たな従事者の確保に取り組みます。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
有害鳥獣捕獲従事者数(人)	63 (令和6年度)	66 (令和12年度)
認定農業者数(人)	135 (令和6年度)	135 (令和12年度)

## 地域資源を生かした魅力づくりと消費拡大

- 加工特産品やブランド農産物の開発や特色ある農産物の産地化への取組を支援し、産地化を推進します。
- 学校給食や飲食店、商店との連携を強化し、地産地消を進めます。
- 農地の適切な管理による景観の保全活動を推進します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
ひめの <sup>りん</sup> 凜栽培面積(ha)	13.7 (令和6年度)	67.0 (令和12年度)

## 農業生産基盤の整備と地域の支え合い

- ため池・農道・用排水路等を改修し、農地の保全や農業用施設の維持の推進に努めます。また、ほ場整備による農業の生産基盤の整備を進め、農地の集積・集約化や大区画化による農作業の効率化を図ります。
- 農業の持つ多面的機能を維持するために、農業者や地域が行う取組を支援します。また、グリーンツーリズム、市民農園、農村体験などを通じて農業経営の多様化を図り、棚田の保全活動や**農村型地域運営組織(農村RMO)**の活動を支援します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
ほ場整備率(%)	41.5 (令和6年度)	43.0 (令和12年度)

## 森林の保全と林業の担い手育成

- 県や関係市町と連携した森林経営管理制度の推進や森林環境譲与税の活用を通じ、土砂災害防止や水源のかん養といった森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、必要な森林整備や林道整備を進めるとともに、自伐林家を含む林業事業者の担い手や技術者の育成を図ります。
- 林道施設の点検・診断結果に応じた補修や更新の対策を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。
- 環境教育や山村体験など、市民や子どもたちにおける、森林の公益的機能への理解醸成を後押しする活動を支援します。

### ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
森林環境譲与税を活用した森林整備面積累計(ha)	130 (令和2～6年度)	488 (令和2～12年度)

### 関連計画

東温市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想／  
 地域農業経営基盤強化促進計画／東温農業振興地域整備計画／  
 東温市鳥獣被害防止計画／東温市森林整備計画／東温市林道施設長寿命化修繕計画／  
 東温市林道網整備計画



▲稲刈り体験



▲多面的機能を維持する共同活動▲



▲新規就農研修センター(水稻栽培研修)



▲ほ場整備(南吉井地区)▲



▲森林環境譲与税を活用した保育間伐



▲林業の担い手育成▲



## 取組の方向性

地域の商工業の持続的発展と新たなにぎわいを生み出し、次世代につながる産業基盤を築きます。

## 現状と課題

本市では、平成 25(2013)年に「東温市中小零細企業振興基本条例」を制定し、商工会や金融機関と連携し、中小零細企業の経営基盤の強化や販路拡大支援に取り組んできました。現状把握に基づく補助金制度などにより事業者数は維持しているものの、中小零細企業を取り巻く経営環境は厳しさを増し、既存施策の最適化や新たな支援体制の構築が求められます。

商店街の活性化については、多世代交流施設や地域イベントにおいてにぎわいが見られ、複数の創業・出店にもつながっていることから、更なる活性化に向けた仕組みづくりが重要です。また、支援事業などを通じて企業のチャレンジを後押ししていますが、事業者や創業希望者が積極的に機会を活用できるよう工夫が必要です。

一方で、専門的な経営支援体制の充実が課題として残されています。愛媛大学との連携は着実に進展しており、医学部をはじめ幅広い分野との協働が、新産業の創出や地域資源を生かしたまちづくりにつながる可能性を持っています。

＼ まちづくり目標値 ／

「商工業の振興」に満足している市民の割合

24.5%

令和6年度 現状値

55.0%

令和12年度 目標値

施策  
1

## 中小零細企業の経営基盤強化

- 商工会や金融機関と連携し、経営課題に対する適切な情報提供を行います。
- 融資制度や現状把握に基づく支援制度を活用した経営支援を推進します。
- 経営体質の強化、事業承継などに取り組みます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
中小企業振興資金利子等補給件数(件)	31 (令和6年度)	50 (令和12年度)

施策  
2

## 中小零細企業の事業力の強化

- 販路マッチングを活用し、中小零細企業の販路開拓を支援します。
- 人材育成、DX等による経営刷新を支援します。
- 生産性の向上や商品開発・PRなどを支援し、持続的な発展を促します。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
販路拡大マッチング商談会への参加件数(件)	3 (令和6年度)	6 (令和12年度)
中小零細企業まるごと応援補助件数(件)	40 (令和6年度)	50 (令和12年度)



▲販路拡大マッチング商談会

施策  
3

## にぎわい創出と商業の活性化

- 産官学をはじめ、金融機関や専門家など多様な主体との連携により、商店街や商業施設を拠点としたにぎわいの場づくりを進めます。
- 中小零細企業の現状把握を行い、専門的知見も取り入れながら持続可能な商業活性化策を検討・実施します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
創業支援事業者数(件)	8 (令和6年度)	10 (令和12年度)

施策  
4

## 産官学連携による新産業創出

- 愛媛大学地域協働センター中予東温を拠点とした地場企業との共同研究や技術開発を支援します。
- 愛媛大学医学部を核に、工学部や農学部などとも連携し、医療・健康関連分野を中心に、ヘルスケア産業や高付加価値のものづくり産業の創出を目指します。

＼ 目標値 ／

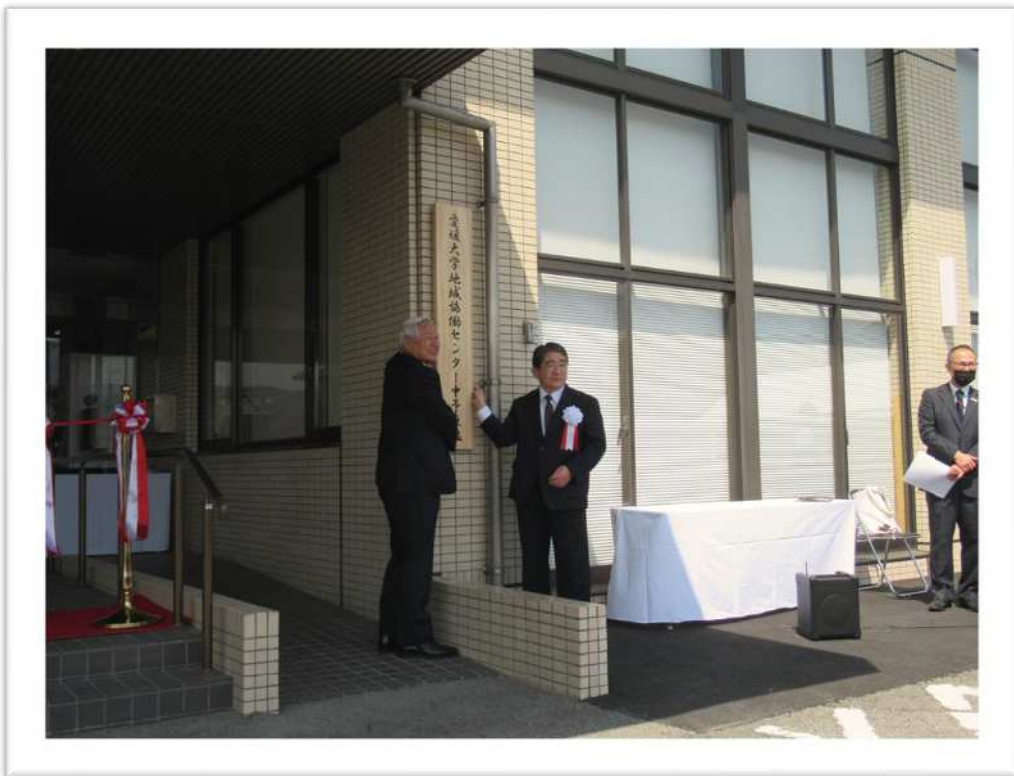
指標名(単位)	現状値	目標値
愛媛大学との協働事業数(件)	5 (令和6年度)	9 (令和12年度)



▲産官学連携事業成果報告会



横河原土曜夜市▲



▲愛媛大学地域協働センター中予東温開設式



## 取組の方向性

観光と物産を通じて東温らしさを磨き、交流人口を増やし、地域活力を高めます。

## 現状と課題

本市は松山市内中心部及び松山空港からのアクセスが良好であり、高速道路のインターチェンジも2箇所所有しています。加えて、豊かな自然や文化資源を有しており、これまでに、(一社)東温市観光物産協会を中心に周遊観光ルートの開発、サイクリングロードの整備、各種イベントの開催、さらには「SAKURA select」による特産品開発など多彩な取組を進めてきました。また、愛媛大学と連携した「ヘルスツーリズム」など、市の特色を生かした取組も始めています。加えて、ふるさと交流館さくらの湯は、市内外から多くの来訪者を集め、観光と地域交流の拠点としてにぎわいの創出に寄与しています。

一方、観光資源や特産品の魅力が十分に発揮されていないことが、市民アンケートや県外モニター調査からも課題として示されています。観光資源の磨き上げや地域産品の販路拡大、広域的な周遊観光の促進、ふるさと納税返礼品の魅力向上も今後の大きな課題です。こうした課題を踏まえ、国内外から観光客の誘致及びそれに基づく観光産業の育成を行い、観光を通じてまちの魅力に触れ、共感し、関わってくれる人の輪を広げていくことが求められます。

また、継続が望まれる既存イベントについては、広域連携や民間の知恵を取り入れながら、持続可能な運営方法の検討が必要です。

さらに、ふるさと交流館さくらの湯については、施設の老朽化や経営上の課題が顕在化していることから、観光や物産、健康づくりなどの複合的な利活用を推進し、持続可能な運営体制につなげていくことが必要です。

### ＼ まちづくり目標値 ／

「観光・物産の振興」に満足している市民の割合

26.3%

令和6年度 現状値

53.0%

令和12年度 目標値

施策  
1

## 観光資源の開発・磨き上げ

- 本市の豊かな自然や地域資源を生かし、市内での周遊促進を図るほか、愛媛大学と連携したヘルスツーリズムを展開します。
- 地域住民や観光事業者と一体となり、観光客の受入環境の整備を進めます。
- ふるさと交流館さくらの湯及びさくらの湯観光物産センターの観光・交流拠点としての機能強化と持続可能な運営体制の検討を進めます。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
観光施設入込客数(人)	735,000 (令和6年)	875,000 (令和12年)
ふるさと交流館さくらの湯及びさくらの湯観光物産センター利用者数(人)	305,360 (令和6年度)	310,000 (令和12年度)

施策  
2

## 地域に根差したイベントの充実と新たなにぎわいづくり

- 持続的に市内のにぎわいを創出するため、集客力やニーズが高いイベントに対し、各種施策を展開します。
- サイクリングイベントなど、市の特色を生かした幅広い世代が交流できる機会を創出し、市内外からの来訪者を増やすだけでなく、地域住民の誇りや愛着を育むことにもつなげます。

## ＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
新規イベント数(件)	0 (令和6年度)	3 (令和12年度)

施策  
3

## 観光・物産のプロモーションの強化

- 近隣市町や交流市町と連携し、周遊観光ルートの開発や県外PRを強化します。
- SNS** やホームページ、パンフレットを活用するほか、(一社)東温市観光物産協会と連携して観光・物産の魅力発信を強化します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
広域連携事業数(件) ※観光・物産関係	3 (令和6年度)	6 (令和12年度)

施策  
4

## 物産の振興と販路拡大

- 「SAKURA select」を核として商品開発から販路拡大まで一貫した取組を進めます。
- ふるさと納税や物産展を通じて販路拡大を図ります。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
SAKURA select 売上額(千円) ※市観光物産協会取扱分	10,913 (令和2～6年度平均)	12,000 (令和8～12年度平均)



▲観光パンフレット

SAKURA select 催事▼



▲SAKURA select イメージ



▲ふるさと交流館さくらの湯

ほっちょ市▼



▲「いのとん」によるプロモーション活動



## 取組の方向性

雇用の場を確保するとともに、中小零細企業の人材確保・定着と働きやすい環境づくりを進めます。

## 現状と課題

本市では、良好な交通条件を生かした工業団地の整備や企業誘致の取組による一定の成果があり、雇用の場は拡大しています。しかし、高齢化や人口減少の進行によって、企業の人材確保は大きな課題となっており、特に中小零細企業では若年層の採用難や人材定着が難しい状況にあります。このまちで働くことを誇りに思えるようなまちづくりによる地域内での安定的な雇用確保が重要です。そのためには、企業と求職者をつなぐシンポジウムや高校、大学、民間企業との連携事業など、実効性の高い取組が求められます。

また、勤労者福祉の施策も展開しているものの、民間の低金利融資などと競合し、実際に活用されにくい事例もあるため、より一層の周知が必要です。

また、更なる企業風土の改革等の推進により、多様なライフスタイルに応じて安心して働くことができる環境整備が求められます。

＼ まちづくり目標値 ／

「雇用の創出」に満足している市民の割合

28.9%

56.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「雇用・勤労者福祉の充実」に関するアンケート結果

施策  
1

## 企業誘致と雇用機会の拡大

- 工業団地の整備や企業誘致を進め、雇用の場を創出します。
- 立地企業の人材確保を支援し、若年層の市内就職につながるシンポジウムやPR活動を充実させます。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
誘致企業数(社)	3 (令和2～6年度)	10 (令和7～12年度)
新規立地企業等の従業員数(人)	145 (令和2～6年度)	500 (令和7～12年度)

施策  
2

## 関係機関連携による企業への支援

- ハローワークや高校、大学、民間企業等と連携し、企業と求職者を結ぶ機会を拡充します。
- 中小零細企業が抱える人材不足に対応するため、補助金制度などを活用し、採用・定着に直結する施策を推進します。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
企業と求職者の交流機会の提供回数(回)	1 (令和6年度)	3 (令和12年度)

施策  
3

## 安心して働ける環境づくりの推進

- 企業の健康経営や働き方改革を支援し、従業員が安心して働ける環境づくりを推進します。

## \ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
健康づくり推進宣言事業所数(事業所)	24 (令和6年度)	40 (令和12年度)

